

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学研究科
--------	-------

基準1 理念・目的

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0101	大学の基本理念・使命・教育目的を適切に設定していますか。また、それを踏まえ、学部・研究科の教育研究上の目的を適切に設定していますか。	(2) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的は、教育組織の特色を明確にしたものですか。	B
		(3) 学部(学科)・研究科(専攻)の育成する人間像は、明確ですか。	B
		(4) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的は、連関性があるものになっていますか。	B
0102	大学の基本理念・使命・教育目的および学部・研究科の教育研究上の目的を学則またはこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員および学生に周知し、社会に対して公表していますか。	(1) 学部(学科)・研究科(専攻)の目的や人間像は、適切な媒体を使って明示していますか。 ・明示媒体(例えば学生便覧とホームページなど)との記述の齟齬	B
		(2) 教職員、学生、社会に対する刊行物、ホームページ等により大学の基本理念・使命・教育目的、学部・研究科の教育研究上の目的等が周知および公表されていますか。 ・構成員(教職員および学生)への周知	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。
0101 「修了認定・学位授与に関する基本的な方針(DP)及び教育の実施に関する基本的な方針(CP)の適切性を必要に応じて専攻会議で確認している。なお、教育目的は大学のホームページで公表している[0101a]。学習教育目標を専攻のホームページで公表している[0101b]。また、教育研究上の目的は学生便覧を通して公表している[0101c]。
0102 ホームページ、学生便覧にて周知、公表している[0101a, b, c]。また、大学院進学説明会、学期ごとのオリエンテーションにおいても、パンフレット等の配布資料で学生に周知している[0102a]。

長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.0102	大学院進学説明会(3年生対象)等において、研究科が求める人材を明確にし、大学院進学への動機付けを行っている。
項目 No.	
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0101	研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的との関連性がやや不明確。
項目 No. 0102	研究科(専攻)の目的や人間像の周知が不十分。周知、公表に必ずしも適切な媒体を使用していない。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果(【留意点】等)への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0101	各専攻会議において意見交換し、内容を確認している。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策(到達目標を含む)
No. 0101	研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的との関連性を明確にすること。
No. 0102	周知、公表に適切な媒体を使用して、研究科(専攻)の目的や育成する人間像をPRすること。

4. 根拠資料

拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0101	a	大学HP https://www3.chubu.ac.jp/about/philosophy/	A
0101	b	工学研究科ホームページ https://www3.chubu.ac.jp/graduate/engineering/	A
0101	c	学生便覧	A
0102	a	大学院パンフレット	A

提出区分 … A:本シートと一緒に提出する資料 B:現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学研究科
--------	-------

基準 2 内部質保証

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0203	方針および手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能していますか。	(4)外部評価（学内内部評価を含む）を自己点検・評価に取り入れていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0203 建設工学専攻では、専攻会議で意見交換したことを学科教室会議などに付託して検証している[0203a]。 0203 応用化学専攻では、毎年10月頃に企業や高校の先生と学科および専攻で、アドバイザー会議を開催し、専攻の内容について現状を報告して、学外の関係者（学科OB、高校の教員、民間企業の技術者など数名）から意見を聞いている。議事録を専攻の会議で報告している[0203b]。 0203 情報工学専攻では、年度末に発行された論文および国際会議論文、国内会議発表リストを業績とし報告している[0203c]。	
長所・特色 <箇条書き> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0203	応用化学専攻におけるアドバイザー会議の開催による学科と一体となった外部評価。
課題事項 <箇条書き> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No.	専攻会議を中心としたが外部評価および自己点検システムが不完全であること。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
0203	専攻会議で改善項目についての意見交換を実施。[0203a1]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0203	専攻独自の質保証システム、方法の確立と実施
0203	外部評価（学内内部評価を含む）の方法などについて専攻会議で議論，できるだけ早い時期に導入する。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0203	a	(建設工学専攻) 会議議事録(2018 年度第 1 回～第 3 回)	B
0203	b	(応用化学専攻) アドバイザリーボード会議議事録	B
0203	c	(情報工学専攻) 専攻会議議事録	B

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学研究科
--------	-------

基準 4 教育課程・学習成果（1）

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0401	授与する学位ごとに、卒業認定・学位授与の方針（DP）を定めて、公表していますか。	(1) 課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した卒業認定・学位授与方針（DP）の適切な設定を行い、公表をしていますか。 ・当該学位にふさわしい学習成果の設定 ・卒業認定・学位授与方針（DP）の設定	B
0402	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針（CP）を定めて、公表していますか。	(1) 学位ごとに、教育課程の体系、教育内容を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	A
		(2) 学位ごとに、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	A
		(3) 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を社会に対し、公表していますか。	A
		(4) 卒業認定・学位授与の方針（DP）と教育課程編成・実施の方針（CP）は適切な連関性となっていますか。 ・「卒業認定・学位授与の方針（DP）」⇔「教育課程の編成・実施方針（CP）」との整合	B
0403	教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(1) 教育課程の編成・実施方針（CP）と教育課程の整合性はとれていますか。	B
		(2) 教育課程の編成にあたっての順次性および体系性への配慮をしていますか。（ナンバリング、カリキュラムマップ）	B
		(3) 単位制度の趣旨に沿った単位の設定をしていますか。	B
		(4) 個々の授業科目の内容および方法は適していますか。	B
		(5) 授業科目の位置づけ（必修、選択等）は適切ですか。	B

0403	教育課程の編成・実施方針 (CP) に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(6) 各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 【学士課程】 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 【修士課程、博士課程】 コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	C
		(7) 学生の社会的および職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0401、402	<ul style="list-style-type: none"> 修了認定・学位授与の方針 (DP)、教育課程の編成・実施方針 (CP) は、学生便覧に掲載されている [0401a]。各専攻における専攻会議にて検討した後、専攻主任、専攻主任補佐により構成される専攻主任会にて整合性等を更に検討し、検討結果を工学研究科委員会にて審議し、大学全体での会議にて最終決定し、大学ホームページに公開している [0401b]。
0403	<ul style="list-style-type: none"> DP を達成するため、履修要項には、履修方法、指導要領、修了要件、審査基準などについて明記されている [0401a]。教育課程は、学生が主体的に行う特別研究や、特論、研究科共通科目の講義等を適切に組み合わせた授業を実施している [0401a, c]。 特別研究では、その時代にふさわしい研究内容を選択し、学生に行わせている。 各教員が各専門分野にふさわしい科目を設定している。 [0401a, c] カリキュラムの適切性は、各専攻会議で検討され、必要に応じて工学研究科専攻主任会で審議される。
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0403	授業科目群を 2 つに分け、電気および電子の両分野の知識をバランスよく修得できるように配慮してある [0401a]。(TE)
項目 No. 0403	通年にわたって AB で行っていた科目を 1 つにすることにより科目数が減った分、最新の時代に合った科目を増やすというカリキュラムの改訂を 2016 年度に行った。2017 年度はそのカリキュラムに従って授業を行った。 [0401c]。
項目 No. 0403	連携大学院協定を結んでいる産業技術総合研究所から非常勤講師をお願いし学生に最先端の研究に関する講義を行ってもらった。(TK)
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0402	担当教員の確保
項目 No. 0403	カリキュラムマップの作成

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0403	<ul style="list-style-type: none"> 科目の系統的に履修できるように配置する。(TE) 専攻会議において意見交換し、内容を確認している。[0403b]。(TC)

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0403	科目の履修マップを作成する。(TE)
0403	履修モデルの検討(TC)。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0401	a	学生便覧	A
0401	b	3つのポリシー	A
0401	c	シラバス	A
0403	a	工学研究科専攻主任会議事録	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学研究科
--------	-------

基準 4 教育課程・学習成果（2）

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0404	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じていますか。	(1) 各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るため、1年間または学期ごとの履修登録単位数の上限設定等の措置を講じていますか。	C
		(2) シラバスに次の内容を組み込んでいますか。また、授業はシラバスどおりに行われていますか。 ・授業の目的、達成目標、学習成果の指標、授業内容および方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法および基準等の明示 ・授業内容とシラバスとの整合性の確保	B
		(3) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法を講じていますか。	B
		(4) 授業の編成および管理運営は適切に行っていますか。 【学士課程】 ・授業形態に配慮した1授業あたりの受講者数になるように授業の編成を行っていますか。 ・履修指導等のガイダンスは適切に実施していますか。 【修士課程、博士課程】 ・研究指導計画(研究指導の内容および方法、年間スケジュール)を明示していますか。また計画に基づく研究指導を行うように取り組んでいますか。	B
0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(1) シラバスに掲げている「達成目標」に基づき、成績評価がなされていますか。 ・シラバス記載の「達成目標」「成績評価方法」に基づく成績評価	B
		(2) 既修得単位の認定は、明確な定めに基づき適切に行われていますか。 ・規程等に基づく単位認定のプロセス	A
		(3) 成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認していますか。	C

0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(4) 卒業・修了要件を明確に定めていますか。	A
		(5) 学位論文審査がある場合、学位論文審査基準が明確に示されていますか。	A
		(6) 学位審査および修了認定の客観性および厳格性を確保するためにどのような措置を施していますか。	B
		(7) 学位授与に係る責任体制および手続は明確に示されていますか。	A
		(8) 適切な学位授与を行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0404	<ul style="list-style-type: none"> シラバスには「授業の趣旨」、「具体的達成目標」、「授業計画」、「授業方法」、「成績の評価方法」、「成績の評価基準」が必須項目として記載されており、「授業計画」は授業の各回の具体的内容と予習・復習の指示を含んでいる [0404a]。毎年年度末に学科全教員によるシラバスのピアレビューをおこなっている [0404b]。シラバスと実際の授業の整合性を組織的にチェックする方法については現状では課題がある。 特論の授業はすべて少人数による授業で受講者の主体的な参加が必須の授業内容である [0404a, c]。また、「特別研究」は言うまでもなく修論研究への主体的な取り組みなくして成り立たない。 大学院入学後速やかに学修計画の策定を義務付けている [0404d]。また、シラバスにも研究指導の内容および方法等は示されている [0404a]。 専攻会議において意見交換し、内容を確認している [0404e]。
0405	<ul style="list-style-type: none"> シラバス [0404a] に明記された方法で成績評価を実施している。 期末試験等の答案等は学科の JABEE 準備室に保管し学科の教員が随時閲覧できるようにし透明性を保つ努力をしている専攻もある [0405a]。 修了要件、修士・博士論文の審査基準は学生便覧で明確に規定している [0405b]。 修論中間発表会、修論発表会を実施している [0405c]。 修士・博士論文の審査は主査と副査により審査され、審査報告書は研究科委員会で承認を受ける [0405d]。 副指導教員を割り当て透明性の確保とアカハラ等の未然防止をおこなっている [0405e]。工学研究科・工学部交流会への参加を強く推奨している [0405f]。
長所・特色 <<簡条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0404	研究計画の策定と指導教員への提出の義務化 [0404d]
項目 No. 0405	副指導教員の割り当てによる透明性の確保とアカハラ等の未然防止 [0405e]
項目 No. 0405	修士に対する研究交流会への参加推奨 [0405h]
項目 No. 0405	修士研究の中間審査を実施 [0405c]
課題事項 <<簡条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0404	シラバスに記載の評価方法を遵守していることの組織的確認体制が不十分
項目 No. 0405	成績評価の客観性の組織的確認体制が全部の授業には行き渡っていない

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
0404	これまで一部のシラバスに必要な記載が不足しているなどの問題があったので受講者の視点からみてよりの確な情報を提供できるシラバスを目指して、学科教員全員によるシラバスのピアレビューを実施し記載内容の改善に取り組んでいる[0404b]。
0405	以前は修士研究の研究計画は各受講者とその指導教員に任されていたが、現在では学修計画を大学院入学当初に策定することを義務付け、そのための統一した書式も用意するなど改善に取り組んでいる[0404d]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0404	学科教員による無作為な授業参観実施による授業内容とシラバスの整合性の組織的チェックをおこなう体制の導入
0405	シラバスのピアレビュー時に期末試験，課題レポート等の実施状況を併せてチェックする体制の導入
0405	成績評価の客観性、厳格性についての専攻としての確認

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0404	a	シラバス	A
0404	b	シラバスの第三者点検依頼	A
0404	c	2018 年度受講者数	B
0404	d	2018 年度入学生の学修計画書(様式)	A
0404	e	建設工学専攻会議議事録(2018 年度第 1 回～第 3 回)	B
0405	a	情報工学科 JABEE 準備室保存答案(TP)	B
0405	b	中部大学大学院 学生便覧	A
0405	c	修論中間発表会、修論発表会のプログラム	B
0405	d	2018 年度審査報告書 (研究科委員会提出)	B
0405	e	副指導教員の割り当て表	B
0405	f	工学研究科・工学部交流会への参加状況	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学研究科
--------	-------

基準 4 教育課程・学習成果（3）

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0406	卒業認定・学位授与方針 (DP) に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価をしていますか。	(1) 学生の学習成果を測るための指標を定め、成果を確認していますか。 ・学習成果を測るための評価方法や評価指標	B
		(2) 成績分布、試験放棄（登録と受験の差）、進級などの実績を学部・学科として把握していますか。 ・学習成果に関する情報の把握と共有	B
		(3) 学習成果を把握および評価するために、どのような方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ループリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	B
0407	教育課程およびその内容、方法の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	B
		(2) 自己点検・評価結果に基づく改善・向上に取り組んでいますか。 ・年度重点目標の設定	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。
0406 <ul style="list-style-type: none"> 学生の学習成果は、S, A, B, C 等、GPA などの指標により点数化される。教員は所属学科の学生の各科目の成績 (S, A, B, C 等) と全科目平均の GPA は、確認することができるシステムになっている[0406a]。 成績不振、休学、退学者の原因等について各教員より報告させ専攻会議で議論している[0406b]。

<ul style="list-style-type: none"> 中間発表等を行わせ、学生の研究進捗状況を把握し、今後の研究の進め方について本人と議論している[0406c]。研究進捗状況を主査と副査教員が共有し、指導に当たっている専攻もある[0406c]。 	
0407	
<ul style="list-style-type: none"> 各教員が毎年度初頭に「教育活動重点目標・自己評価シート」を提出して当該年度の重点目標を設定し、これを学部長・学長が点検する。また、年度終わりに同シートに自己評価を記して提出し、これを学部長・学長が点検している[0407a]。 	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0406	大学院2年目の9月に中間発表を行わせ、学生の研究進捗状況を主査と副査教員が共有し、今後の研究の進め方について本人と議論している[0406a]。
項目 No. 0406	卒業時においては修士論文および発表プレゼンテーションにおいて学会での発表リストを明示させている。(TP)
項目 No. 0406	TOEICを受験させており、6月にM1、12月にM2を受験させ、その成績を確認することで教育上の改善点を学科会議で議論している[0406d]。(TP)
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0406	学修成果の把握や評価が担当教員任せになっていること。
項目 No. 0407	自己点検体制が不完全であること。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
目標に応じて科目が履修できるように、科目群を系統的に分類する。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0407	カリキュラムマップを導入する。
0406	専攻としての学習成果評価方法の確立。
0407	専攻としての点検方法の検討。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0406	a	TORA-NET Portal 学修ポートフォリオ	A
0406	b	休学・退学者の状況報告	A
0406	c	修士論文中間発表会	B
0406	d	TOEIC 成績のモニター (TP)	B
0407	a	教員活動重点目標・自己評価シート	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学研究科
--------	-------

基準5 学生の受け入れ

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0501	入学者受入れの方針(AP) を定めて、公表していますか。	(1) 卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえた方針となっていますか。	B
		(2) 明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。 ・入試要項とホームページ等の媒体間の記述の統一	A
		(3) 社会に対し公表していますか。	A
		(4) 下記内容を踏まえた入学者受入れの方針(AP) の設定となっていますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	B
0502	入学者受入れの方針(AP) に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施していますか。	(1) 入学者受入れの方針(AP) と入試形態は整合していますか。 ・求める学生像と入試形態との整合	B
		(2) 入学者受入れの方針(AP) に基づき、大学教育を受けるための能力・適性等を判定できる入学者選抜の方法を採用していますか。 ・教育課程の編成・実施方針 (CP) と学生募集方法、入学者選抜方法の連関 ・入学者選抜において透明性を確保するための措置	B
		(3) 入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備はなされていますか。	A
		(4) 公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(5) 入学希望者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A

0503	適切な定員を設定し、入学者の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。	(1) 入学定員および収容定員の適切な設定と在籍学生数を管理していますか。 【学士課程】 ・ 入学定員に対する入学者数比率 ・ 編入学定員に対する編入学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応 【修士課程、博士課程】 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率	C
0504	学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っていますか。	(1) 学生募集や入学者選抜方法の適切性について検証していますか。 ・ 学部内委員会等において根拠資料に基づいた定期的な検証	C
		(2) 自己点検・評価結果に基づいた改善・向上を行っていますか。 ・ 年度重点目標の設定	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0501	DP、CPを踏まえたAPを設定し、大学のHPで公表しているが、具体的な能力水準までは定めていない[0501a]。
0502	学生募集および入学者選抜の制度については、大学院入試要項を定め[0502a]、工学研究科専攻主任会での入試判定[0502b]、全学の入学者選抜会議[0502c]で、透明かつ公正な選抜が実施されている。しかしながら、APと入試形態の整合性、CPと学生募集方法、入学者選抜方法の連関性は明確でない。
0503	定員設定は行っているが、定員管理は不十分である。
0504	学生募集および入学者選抜に関する検証、改善も不十分である。
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0502	博士前期、後期課程において、秋学期入学制度を整備している[0502a]。
項目 No. 0502	海外の学術交流協定機関からの入学希望者に対し事前審査制度を設けている[0502b]。
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0501	具体的な能力水準まで含めたAPの検討。
項目 No. 0502	APと入試形態の整合性、CPと学生募集方法、入学者選抜方法の連関性に関する検証と改善。
項目 No. 0503	適切な定員管理。
項目 No. 0504	学生募集および入学者選抜に関する検証、改善。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0502	大学院入試要項の確認と見直し、および定員管理（定員の確保）について工学研究科専攻主任会、工学研究科委員会での検討を行っている[0502a]、[0502b]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0501	入学者の資質、能力など具体的な AP の検討
0502	AP と入試形態の整合性、CP と学生募集方法、入学者選抜方法の連関性に関する検討と改善の推進。
0503	適切な定員設置とその充足について、広報活動の強化、推進を図る。
0504	学生募集および入学者選抜に関する定期的な検証、継続的な改善を図る

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0501	a	中部大学HP https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/	A
0502	a	大学院入試要項	A
0502	b	工学研究科専攻主任会議事録	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学研究科
--------	-------

基準6 教員・教員組織

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0602	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制していますか。	(1) 大学全体および学部・研究科等ごとの専任教員数は、適切ですか。	B
		(2) 教育理念・目的を実現できる教員組織を編制していますか。(方針等に基づく組織編制の明確化) ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師または助教)の適正な配置 ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	B
		(3) 学士課程における教養教育の運営体制を整備していますか。	A
0603	教員の募集・採用・昇格等を適切に行っていますか。	(1) 教員人事関連規程が整備され、適切な手続きによる運用をしていますか。 ・教員の募集・採用・昇格等に関する規程の整備および手続きの設定	A
		(2) 規程等に従った適切な教員人事(募集、採用、昇任等)を実施していますか。	A
0604	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上および教員組織の改善・向上につなげていますか。	(1) FD活動を組織的に実施していますか。	B
		(2) 点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
0605	教員組織の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を実施していますか。	C
		(2) 自己点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0602 工学研究科資格審査会での教員審査を通じて、適切な専任教員数の確保、教育理念・目的を実現できる教員組織の編制に努めているが、改善点もある[0602a]。	
0603 教員人事関連規程が整備され、適切な手続きによる運用が行われているが、教員人事の適切性に関して改善の余地がある[0603a]、[0603b]。	
0604 FDを実施しているが、点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みは不十分である[0604a]。	
0605 教員組織の適切性についての定期的な自己点検・評価は必ずしも行っていない。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0503	大学院担当資格に関する評価基準を研究、教育業績等からポイント化し、明確にしている。
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0602	教育理念・目的を実現できる教員組織に関する点検と改善。
項目 No. 0603	教員人事の適切性に関して、募集、採用段階での透明性、公平性の確保。
項目 No. 0604	FDの点検・評価結果に基づく教員の資質向上の取り組み。
項目 No. 0605	教員組織の適切性についての定期的な自己点検・評価と改善の取り組み。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0605 工学研究科委員会、専攻主任会、各専攻会議において、教員組織の編制、教員組織と教員人事、FD活動等について点検と検討を行っている。[0605a]、[0605b]。	

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0602	教育理念・目的を実現できる教員組織に関する点検、検討、改善の推進。
0603	教員人事の適切性に関して、募集、採用段階での透明性、公平性の確保を図る。
0604	FD活動の活発化とその点検・評価結果に基づく教員の資質向上の取り組みを推進。
0605	教員組織の適切性についての自己点検・評価と、それに基づく改善の取り組み。

4. 根拠資料

根拠資料 No.	根拠資料の名称		提出区分
項目 No.	記号		
0602	a	工学研究科資格審査会議事録	A
0603	a	中部大学大学院学則	A
0603	b	人事審議会議事録	B
0604	a	工学部FD委員会議事録	A
0605	a	工学研究科委員会議事録	A
0605	b	工学研究科専攻主任会議事録	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学研究科
--------	-------

基準7	学生支援
-----	------

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0702	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備していますか。また、学生支援は適切に行っていますか。	(2) 学生の修学に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の能力に応じた補習教育、補充教育 ・正課外教育 ・留学生等の多様な学生に対する修学支援 ・障がいのある学生に対する修学支援 ・成績不振の学生の状況把握と指導 ・留年者および休学者の状況把握と対応 ・退学希望者の状況把握と対応 	B
		(4) 学生の生活に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の相談に応じる体制の整備 ・ハラスメント防止のための体制の整備および啓発活動 ・心身の健康維持・増進および安全への取り組み ・生活支援面において、方針の目的（安全で安定した学生生活を送るための基盤整備等）の支援 	B
		(5) 学生の進路に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生のキャリア支援を行うための体制（学部との協力・連携を含む）の整備 ・進路選択に関わる支援やガイダンスの実施 ・キャリア支援講座などの実施 	B
		(6) インターンシップは十分に実施していますか。	B
		(8) 学生の要望に対応した学生支援を適切に実施していますか。 キャリア支援、保健管理、スポーツおよび文化活動の強化	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0702 各専攻会議において意見交換し、内容を確認している。[0702a]	
0702 (2) 成績不振の学生の状況把握と指導、留年者および休学者の状況把握と対応、退学希望者の状況把握と対応については、教務支援課、学生支援課からのデータに基づいて適切な指導を行っている。退学者数の減少により、その成果は確認される[0702b、0702c、0702d、0702e]。学生の能力に応じた補習教育、補充教育、正課外教育、留学生等の多様な学生に対する修学支援、障がいのある学生に対する修学支援については、専攻としての対策はなく、教員の個人的な活動のレベルである。(4) 学生の相談に応じる体制の整備、ハラスメント防止のための体制の整備および啓発活動、心身の健康維持・増進および安全への取り組みに関しては学生相談室と連携して対応している[0702f]。生活支援面においては奨学金の推薦書の作成レベルにとどまっている。(5) 学生のキャリア支援を行うための体制の整備、進路選択に関わる支援やガイダンスの実施、キャリア支援講座などの実施については学科・専攻独自の対策が採られており、高い就職内定率で成果が確認される[0702g][0702h][0702i]。(6) 授業としてのインターンシップ科目受講、企業からの個別のインターンシップ情報を学生に提供して参加を促している。具体的な数字として把握されていない。研究室により専攻院生を研究インターンシップでチュラロンコン大学に送り出しをしている。実績7名 [0702j] 0702 専攻により学修ポートフォリオを通して学生の修学に関する適切な支援を実施しているが、ハラスメント防止やインターンシップに関しては必ずしも十分でない。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0702	(2) 情報工学専攻では、退学希望者の保護者との面談においては、教員が2名で対応する体制を学科・専攻として基本ルールとしている[0702d]。(5) 学科・専攻独自の就職サイトの開設、学科・専攻独自の就職ガイダンスの実施をしている[0702g][0702h]。
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0702	専攻によっては学生支援の取り組みが組織的でなく、担当教員任せになっていること。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
各専攻において、学修ポートフォリオを活用して、情報を共有し、退学者の予防に努めている。	
年度初めにすべてに大学院生に研究計画書を提出させ、研究状況等を把握するとともに、研究指導に活用している。	

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0702	各専攻における組織的な支援体制の検討と確立。

4. 根拠資料

根拠資料No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0702	a	(建設工学専攻) 会議議事録(2018 年度第 1 回～第 3 回)	B
0702	b	(電気電子工学専攻) TORA-NET Portal 「学修ポートフォリオ」	B
0702	c	(応用化学専攻) 応用化学科および専攻の各学生の就職関連調査報告	B
0702	d	(情報工学専攻) 2017 年度・2018 年度 面談記録、指導報告書	B
0702	e	中部大学 web サイト・データでみる中部大学：退学・除籍者数除籍者数	A
0702	f	(情報工学専攻) スタートアップセミナーでの講義実施の時間割資料	B
0702	g	(情報工学専攻) 学科・専攻独自のガイダンス実施記録	B
0702	h	(情報工学専攻) 企業情報システムと倫理の外部講師のデータ	B
0702	i	就職・進学等の状況	A
0702	j	海外研究指導委託	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学研究科
--------	-------

基準 8 教育研究等環境

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0802	教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地および校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設および設備を整備していますか。	(1)教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実を図っていますか。	B
0806	教育研究等環境の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を実施していますか。	C
		(2)自己点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0802 工学部主任会において、施設・設備の充実に向けた取り組みをおこなっている[0802a]。また、専攻主任会において、教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた各専攻での施設・設備に関する点検を行っている[0802b][0802c]。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 802	ものづくり工房の整備[0802c]
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 806	教育研究等環境の適切性についての定期的な自己点検・評価とそれに基づく改善。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0802	工学研究科において、各専攻での施設・設備に関する点検整備の取り組みを行っている[0802b]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0802	既存施設の点検と、それに基づく施設、設備の計画的更新および新規整備。
0806	教育研究等環境の適切性についての自己点検・評価とそれに基づく改善の推進。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0802	a	工学部主任会議事録	A
0802	b	工学研究科専攻主任会議事録	A
0802	c	ものづくり工房紹介文書	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学研究科
--------	-------

基準 9 **社会連携・社会貢献**

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0902	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していますか。また、教育研究成果を適切に社会に還元していますか。	(2) 社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	C
		(3) 地域交流・国際交流事業への参加などに取り組んでいますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0902 各専攻会議において意見交換し、内容を確認している。[0902a]。	
0902 社会連携・社会貢献に関しては、大学の研究紹介パンフレットおよびHP上でのデジタルブックを通して各教員の研究内容を公表し、連携、貢献できる内容を公表しているが、実施内容等について自己点検は実施していない。[0902b]	
0902 2018/12/3-4 に開催した産学官国際連携フォーラムの開催にあたり、企画・運営に参画した。[0902c] また、同2名が講演を行い、社会連携および国際交流に取り組んだ。その他、さくらサイエンスプラン、JICA 産業技術研修で来学された訪問団に教育研究活動を紹介し、国際交流事業への参加を行なった[0902d][0902e]。インド工科大学の交流協定を部局間から全学交流協定に更新、研究インターンシップの学生受け入れを行うとともに、チュラロンコン大学に専攻院生の研究インターンシップ送り出しを行った。[0902f] [0902g]	
長所・特色 < 箇条書き > *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0902	COC 活動に大学院生が参加した。[0902h]。
項目 No. 0902	最先端の研究活動を実施し、国内外での学会で発表、多くの賞を受賞している[0902i]
課題事項 < 箇条書き > *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0902	社会連携・社会貢献に関する活動が各教員の自主的努力に依存していること。
項目 No. 0902	国際交流や研究活動への取り組みが一部の教員に偏りがある。

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0902	社会連携・社会貢献に関する教育研究活動への取り組みを全教員が活発に取り組むように、工学部教授会で要請した[0902j]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0902	専攻として各教員の社会連携・社会貢献に関する活動を把握し、支援する体制を構築する。
0902	社会連携・社会貢献に関する教育研究活動を WEB, SNS を通じて積極的に発信する。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0902	a	(建設工学専攻)建設工学専攻会議議事録(2018年度第1回～第3回)	B
0902	b	中部大学研究紹介	A
0902	c	国際産官学連携フォーラム	A
0902	d	さくらサイエンススケジュール	A
0902	e	JICA 産業技術研修スケジュール	A
0902	f	インド工科大学との協定書	A
0902	g	インド工科大学からの学生受入	A
0902	h	春日井市における世代間交流による地域活性化・学生共育事業	A
0902	i	受賞のお知らせ	A
0902	j	工学部教授会議事録	A

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学研究科
--------	-------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、継続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120	工学研究科専攻主任会で必要に応じて教育研究活動の検証を行うとともに、適切に議事録を作成している [1120a]。
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	大学院研究科委員会における会議資料のペーパーレス化を推進するとともに、後日デジタル化した資料を全構成員に配信。
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	専攻主任会における資料のペーパーレス化の推進を図る。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 改善・向上の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	工学研究科専攻主任会で必要に応じて教育研究活動の検証を行っている [1120a]。

< 今後の改善・向上計画 >

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	教育研究活動、管理運営に関する定期的な点検・評価とそれに基づく継続的な改善の推進

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	工学研究科専攻主任会議事録	A

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管